

岡山県総合文化センターニュース

県内図書館めぐり Part 灘崎町中央図書館



灘崎町は、人口約一万五千人、岡山市・倉敷市・玉野市に囲まれた水と緑の町です。県下の台所を支える穀倉地帯として、農業振興に力を入れており、特に日本農業賞に輝いたナスは「岡山備南の千両ナス」として全国に君臨しています。

灘崎町中央図書館は、このような農業の振興と地域の活性化を図る目的で建てられた「おかやまファーマーズ・マーケットサウスビレッジ」の少し南へ平成六年十二月一日にオープンしました。大・小二つのホール、歴史文化資料館・研修室が併設されており、総称は灘崎町民会館です。一階正面左側が図書館で、独立した入口があります。延床面積五〇三平方メートルには各種コーナーがゆったりと設けられており、この図書館でのユニークな取り組みとしては、遠隔地区の小学生を対象にした図書館へのバスの運行を行い利用の便宜・推進を図っていることが挙げられます。

所在地 千七〇九 一二二五
児島郡灘崎町片岡一八六
電話 (〇八六三六)二 五三三七
蔵書冊数 約三万七千冊
貸出冊数 約八万冊
(町民一人当たり約五冊)



感動 未来へ おかやま

現代作家の眼

アートウェーブ岡山・彫刻選抜展

木・石・金属 内なるものへ

平成10年9月30日(水)～10月11日(日)

岡山県総合文化センター第1展示室

岡山県総合文化センターでは、「現代作家の眼」《アートウェーブ岡山・彫刻選抜》展を開催いたします。

この「現代作家の眼」展は、昨年度から新しい企画の展覧会としてスタートしたもので、岡山県総合文化センターで開催する「中央展」と、県内市町村の展示施設を巡回して開催する「巡回展」の二つの展覧会で構成しています。

今年度の「中央展」である《アートウェーブ岡山・彫刻選抜》展は、県内外で活躍している岡山在住の彫刻家二十三名の作品二十三点を一堂に展示するものです。

内容と特色

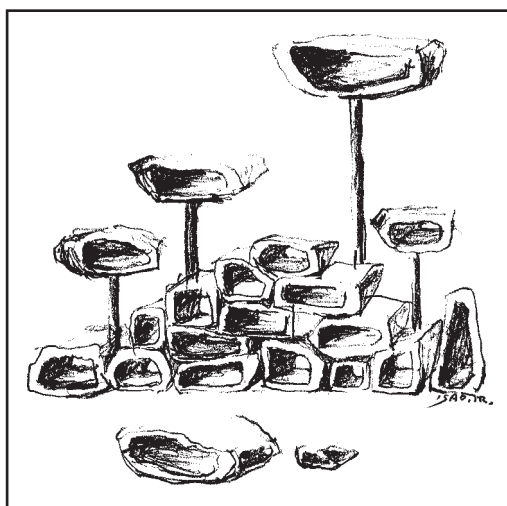
今回は「木・石・

金属 内なるものへ」というテーマ

で、彫刻の中でも素材を木、石、金属に限定した作品を展示します。これらの素材を使って創作活動を続ける県内の彫刻家の作品をまとめて

鑑賞できるので、作家の素材へのこだわりや、制作に対する姿勢が感じとれる展覧会になると考えています。

彫刻と一口に言っても、「彫



洞 森下 勲

刻」という一語ではくくることができないような多様性を見せているのが、現在の美術の状況です。この展覧会では、抵抗感のある素材と格闘し、あるいは対話しながら制作している作家たちの作品を通して、その多様な現代の美術の一つの断面をかいまみるることができるのではな



立った川 岡部 玄

いかと思います。そして、それぞれの作品から作家の「内なるもの」が強く迫ってくる、みごたえのある展覧会になると思いますので、ぜひ御来場の上御鑑賞ください。

会期・開催時間

会期は平成十年九月三十日(水)から十月十一日(日)までで、開催期間中は無休、入場は無料。開館時間は午前九時から午後五時(最終日は午後四時)まで。

なお、県内市町村で開催する「巡回展」は、今年度は《アートウェーブ岡山・洋画選抜》展として、津山市と高梁市で開催いたします。詳しくは、岡山県総合文化センター総務課文化係までお問い合わせください。

(086 224 1286)

おしらせ

平成十年度第二回

「世界お話の旅」 ブラジル編開催

子供たちに外国の絵本や文化に親んでもらおうと今年も「世界お話の旅」の講座を開催しています。第二回は、サッカーと太陽の国ブラジルをとりあげます。講師にエリゼツテ・和美・渡辺さんを迎え、民話の読み聞かせを中心にブラジルの言葉や文化にも触れます。また、歌や遊びをおして講師との交流も図ります。今回とりあげるのは、森に住むかわいい妖怪、サツスイとクルヒラ、や、街の元気な子供たちの姿を描いた「ちびっこサッカー」など、原語を交えながら参加者に語りかけます。詳細は次のとおりです。

一 日時 平成十年九月二十六日(土) 午後二時～三時三十分

二 会場 岡山県総合文化センター 第一会議室(三階)

三 講師 エリゼツテ・和美・渡辺氏 (岡山大学大学院留学生)

四 対象 おもに小学生と保護者、一般の方の参加も歓迎。入場無料で、申し込み手続き不要。説明は日本語で行います。お問い合わせは国際資料係まで。

おかやま人物往来 ④ 大覚



大覚大僧正画像
松寿寺蔵

た。また一方で、畿内・瀬戸内諸国に布教して、はじめてこれらの地方に日蓮の教えを広め、末寺、

信者の獲得に尽した。このため師日像から「寺主上人」と敬称され、日像の後をうけて、妙顕寺第二世となった。

備前地方に日蓮宗の信者が多く、広島県の安芸地方に浄土真宗の信者が多いことを「備前法華に安芸門徒」というが、県南では、「南無妙法蓮華経」と刻まれた多くの題目石が日蓮宗が盛んであった様子をうかがわせる。

岡山の地に初めて日蓮の教えを伝えたのが大覚妙実であった。大覚は幼いころ出家し、はじめは真言宗の僧であったが、京都で日蓮の説法を聞いて、その弟子となり、日像から妙実の名を与えられた。日像は日蓮の弟子で、初めて京都へ日蓮の教えを広め、「洛陽開山」とよばれた人で、妙顕寺を建立して京都布教の拠点とした。大覚は日像を助けて、宮中や幕府へ日蓮の教えを説き、妙顕寺を天皇の勅願寺、幕府の祈願所にするに努めるなど、日蓮宗を朝廷や幕府が公認する教団に高め

岡山県内で大覚が開創したと伝える寺院は三十力寺を超える。一般には、浜野(現岡山市浜野)に上陸した大覚が、地元の豪族多田氏の保護を受け、松寿寺を開いたのが備前地方へ法華宗が伝えられた最初といわれる。しかし、牛窓の本蓮寺も、西国巡錫中の大覚が地元の石原氏の帰依を得て、法華堂を創立したのが始まりとしており、大覚は海運の盛んな瀬戸内各地に布教しながら、旭川河口の浜野に上陸し、備前国への布教を始めたものと考えられる。

岡山県下で、大覚の布教活動の拠点となったのは野山荘の妙本寺(現賀陽町)と備前の福輪寺(のちの妙善寺)や蓮昌寺であった。妙本寺は奥州出身の武士であった伊達氏が野山荘の地頭職を得て入部し、建立したもので、伊達氏

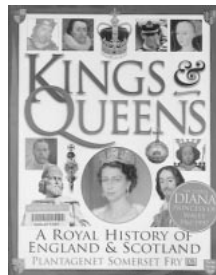
は龍の口法難の時の日蓮の毅然とした態度に感じて日蓮に帰依したという。野山荘への入部に際し、伊達氏は日蓮に野山荘に寺院を創建するよう依頼、日蓮は弟子の日像を開基として推薦したが、日像が布教のため京都を離れられないことから、名代として大覚が派遣されたと伝えられる。さらに、大覚は伊福郷(現岡山市)へ東国から入部した松田氏の保護のもとに、福輪寺、蓮昌寺を開いて、布教の拠点としたのであった。

延文三年(正平一三年)一三五八、京都が早魃にみまわれた時、大覚は天皇の命で雨ごいの祈禱をおこない、見事危機を救った。この功績によって、日蓮に「大菩薩」、日像の師日朗と日像に「菩薩」の号が与えられ、大覚自身も「大僧正」に任じられた。江戸時代大覚が雨ごいの祈禱をする姿に描かれるのはこのためである。

本館で閲覧できる関係図書には、『大覚』(渡辺知水)・『大覚大僧正と三備開基寺院』(原田智詮)・『大覚大僧正』(下村宏之)など大覚その人を紹介した著作があり、『備前日蓮宗沿革史』(妙覚寺)・『法華宗松寿寺誌』(浜野史蹟研究会)・『妙法寺史』(妙法寺)などにも大覚の活動が紹介されている。

外国語資料紹介

Kings & Queens: A Royal History of England & Scotland
(by Plantagenet Somerset Fry
Dorling Kindersley/1997)



この書は、はるかアルフレッド大王から現在のプリンス・オブ・ウェールズまで、大英帝国の栄光を築いてきた諸代王族たちの人物像を豊富なイラストとともに紹介している。最後の章では「Farewell to a Princess」「The Future King」と故ダイアナ妃、ウイリアム王子にもふれてゐる。英国の歴史を知りたい人にも親しみやすい書となるだろう。

Folk Wisdom for a Natural Home (by Beverly Pagram/
Trafalgar Square Publishing/
1997)

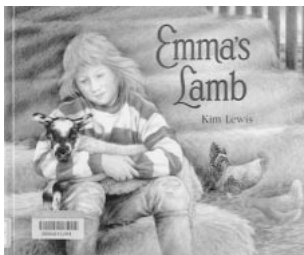
この書には、今はすでに忘れられている昔の人の



々の住まいの知恵がぎっしり詰めこまれている。そのほかに家事の工夫や自然素材をつかった日用品、シャンパー、織物、リンズ、ベビーパウダー、ハエはらいなどの作り方も紹介されている。エコロジストや自然派志向の読者にはうれしい書となるだろう。

Emma's Lamb (by Kim
Lewis/Candlewick Press/1998)

春雨の朝、お父さんが迷子の子羊を連れて帰った。幼いエマはいっしょにうめい世話をする。しかし、自分一人で育てられないことはエマもわかってゐる。やがて、お母さん羊も見つけ、親子羊は牧場へ帰っていく。作品はエマの揺れる心情を追っていく。



作者キム・ルイスは英国の絵本作家である。牧場に生活し、その自然を背景に子供たちの姿を描いている。色鉛筆による精緻で美しいイラストは物語を一層魅惑的にしている。「First Snow」(はじめてのおてつだい)は、初めて邦訳されたルイスの作品である。

当館の参考図書 96

今回は、郷土資料室の参考図書を紹介いたします。

岡山県観光便覧 平成九年三月
(岡山県商工労働部観光物産課
一九九七)



県内の観光案内的なものは、多くの出版社からさまざまな種類の

ものが出版されている。そういったものにくらべて、県の観光物産課が隔年発行しているという本書は、装丁は地味だし、本文に写真もない。だが、とにかく必要な情報がぎっしり詰まっているのである。

全体は観光資源、運輸交通施設、宿泊施設、土産品・特産品、郷土料理店、酒、市町村のシンボル、観光関係行政機関・団体、観光物産案内の九つで構成されている。例えば観光資源の項目では、神社仏閣から各種イベント情報まで幅広く紹介されている。表形式でまとめられており、目的地までの交通や駐車場の有無など役立つ情報が簡略に書かれている。

県内を観光したいという人には役立つ一冊である。

岡山県の民謡(岡山県教育委員会 一九八九)

昭和六十二・三年度の二年間、県下に伝承されている民謡を調査し、その結果をまとめたもの。項目は地域別になっており、曲名、伝承地、伝承者、歌詞がのっている。巻末には種別の分類もついている。



岡山県文化財総覧(岡山県市町村振興協会編集・発行 一九九五) 文化財と一口に言っても、国指定から県市町村指定のものまであり、種類も有形、無形と様々である。本書は、岡山県内の文化財についてそのすべてを網羅的に収録している。

本文は市町村ごとになっているが、巻末に指定の単位ごと、種別ごとの索引がついており、様々な角度からの検索が可能になっている。紹介は一つの文化財につき五、六行程度だが、写真も多数掲載されており、見やすくなっている。文化財は年々新しいものが指定されているため、現在では本書収録のものがすべてと言うわけではないが、県内文化財全体を見る上では便利である。

随想

日本の辞書の歴史は、九世紀初頭に始まると言われている。以後、現代に至るまで、多様化・一般化・近代化という道をたどりつつ、一体どの位の種類の辞書が作られたらだろうか。それらの辞書には、各時代の言語意識や文化背景などに関する得がたい情報が大量に盛り込まれている。ある辞書によれば、文学作品などには書き表されていない当時の清濁音情報が入手できる。ある辞書によれば、書き言葉からは求め得ないはずの当時のアクセント情報が入手できる。意義分類によれば、食物・動物・植物・器財など、分野別にどんな物がありどんな語を用いていたかを知ることができる。古辞書の研究に関わってそろそろ二十年になるが汲めども尽きぬ泉のようだ。そして、辞書は、それ自体としても面白いが、文学作品などを正確に読み鑑賞するために必要な情報の泉でもある。ただし、これらの古い辞書を



「汲めども尽きぬ泉」

三宅 ちくさ

刊行が終了したのは一九六〇年五月であったというのは有名な話だ。けれど、辞書編纂の世界において、類似した話は他にもいろいろある。江戸時代、歌語を中心に二万余語を編纂した『鸚鵡抄』百巻は、神官で歌人でもあった荒木田父子によるものだが、父盛徴が準備した草稿を子盛員が改編中、火災に遭い焼失。そのため、改めて十三年を費やして編纂したという。このような苦労の成果をちよっとした予備知識を身につけ

利用するためには、古いものであるだけに若干の予備知識が必要となる。それさえ身につければ、複製化も進みつつあり豊かな泉の水を汲むことができるのである。

辞書の編纂にあたった人々の苦勞は並大抵のものではない。『大漢和辞典』の編纂に着手した諸橋轍次が、第一巻を刊行したのは十六年後の一九四三年九月、第二巻以降の刊行は戦災によって中断。一九五六年十一月に改めて第一巻を刊行し、索引を含む全十三巻の

だけで活用できるとは、何とありがたいことではないか。

改めて言うまでもないが、図書館は、並の辞書とは比較にならないほど多方面に渡る人間の知恵を蓄積した辞書、先人たちの閃きや努力の成果の泉である。この汲めども尽きぬ泉を活用しない法はない。家庭で、学校で、何年学ぼうと

全てを学び尽くすことはできない。しかし、解決すべき問題が生じた時、図書館を尋ね種々の辞書をひけば、あるいは種々の書物を見れば、そこで何等かのこたえや手掛かりを得ることができ

るだろう。励ましも得られるだろう。だからこそ、特に若い人たちは分かちあいたい。辞書・図書館という泉の豊かな水を汲み、問題を解決する楽しさを。そして、自分自身の未来を切り開いて行つてほしいと願う。自分自身の水汲みはもちろん、教育機関に所属する一員としては、水汲み用ひしゃく、できれば大きなバケツづくりを手助けすべく頑張りた

い。たとえ、「がみがみおぼさん」と言われようとも、決意を新たにしているこの頃である。

(就実女子大学教授)

友の会だより

スケッチ旅行

参加者の募集について

さわやかな秋空のもと、紅葉の美しい五色台・中津万象園で、一日ゆつくりとスケッチ等を楽しんでみてはいかがでしょう。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

一、日時

平成十年十月三十日(金)

二、行先

香川県五色台・中津万象園

三、講師

川崎正博氏

四、募集人員

四十名程度

五、参加費

七千円程度

六、申込期限

九月三十日(水)まで

七、申込方法

電話で本人が(会員番号・氏名等)お申し込みください。

友の会事務局

〇〇八六 二二四 一二八六

優待事業について

文化センター土曜劇場へのご招待はご存じですか。

友の会会員証を受付で提示されると、会員無料になります。

ぜひ皆さんお誘い合わせのうえ、ご鑑賞ください。

平成10年

10月の催物案内

岡山県総合文化センター

ギャラリー

期 日	催 物	入 場 料	主 催 者	展 示 室
9 / 30 ~ 10 / 11	「現代作家の眼」 《アートウェーブ岡山・ 彫刻選抜》中央展	無 料	岡山県総合文化センター 「現代作家の眼」展 実行委員会	第1展示室
9 / 29 ~ 10 / 4	'98岡山県本部展・第54回朝日写真展	無 料	全日本写真連盟岡山県本部	第2展示室
	第19回 南画清風会 選抜展	無 料	南 画 清 風 会	第2展示室
10 / 6 ~ 10 / 11	第23回 金光ゆうざきフォト集団写真展	無 料	金光ゆうざきフォト集団	第2展示室
	第26回 自 詠 書 展	無 料	岡 山 県 書 と 歌 の 会	第2展示室
10 / 13 ~ 10 / 18	第40回 養 和 書 道 院 展	無 料	(社) 養 和 書 道 院	第1展示室
	第38回 (公募)西 日 展	無 料	(社) 養 和 書 道 院	第2展示室
10 / 20 ~ 10 / 25	第35回 墨 象 会 展 (記念展)	無 料	墨 象 会	第1展示室
	第14回 梅 操 展	無 料	梅 操 会	第2展示室
10 / 27 ~ 11 / 1	公募第20回 玄画会展覧会	一般 500円 会員・老人・高校生以下 無料	玄 画 会	第1展示室
	第17回 春陽会瀬戸内作家展	無 料	丘 陽 会	第2展示室
	第8回 白日会岡山支部展	無 料	白 日 会 岡 山 支 部	第2展示室

ギャラリーの開場時間は通常9時から17時です

ホール(固定席282席)

日(曜)	催 物	時 間	入 場 料	主 催 者
10 / 2(金) 3(土) 4(日)	第295回文化センター土曜劇場	9:00~19:00	無 料	岡 山 県 綜 合 文 化 セ ン タ ー
	岡山県高校演劇協議会公演	9:00~19:00		
	(岡山工業高校他)	9:00~16:00		
10 / 9(金)	落 語 公 演	19:00~20:30	2,000円	(有) な ぜ か な な め
10 / 10(土)	音 楽 演 奏 会	13:00~16:00	500円	ツ チ ノ コ 商 会
10 / 11(日)	演劇公演(熱海殺人事件)	14:00~18:00	無 料	岡 山 商 科 大 学 演 劇 部
10 / 17(土)	音 楽 演 奏 会	13:00~16:30	500円	就 実 音 楽 愛 好 会
10 / 25(日)	ピ ア ノ 発 表 会	9:30~16:30	無 料	大 森 音 楽 教 室
10 / 31(土) 11 / 1(日)	第296回文化センター土曜劇場 CARATプロジェクトカンパニー公演 (道化の華)	18:00~20:30 13:00~15:30	前一般 1,500 学生 1,000 当一般 1,800 学生 1,200 会員無料	岡 山 県 綜 合 文 化 セ ン タ ー

会員...文化センター友の会及び文化振興会会員

催物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。



八月二十一日、県図書館協会主催の整理技術講習会が県総合福祉会館で開催された。県下の小・中・高校をはじめ、公共図書館・大学図書館等から四十名が参加し、「資料の選定」「図書の整理」の二業務に関した講義を受講した。毎日の仕事に即、生かせる内容であるため、熱心に受講し、講師への活発な質問がなされた。

お知らせ

普及課が九月一日付で左記へ移転しました。業務内容は今までと同様ですが、電話・ファックス番号が変更されており、御注意ください。

記

新所在地：岡山市原尾島三丁目二二
(メディアアコムの東五十メートル)

新電話番号：(〇八六)七〇二六七
新ファックス番号：電話番号と同じ

図書館部門の第二、第三日曜日のみ開館時間が、十月から三月まで九時から十七時になります。